

<p>たまき つかさ</p> <p>玉城 司 特任教授</p>	
①専攻	日本近世文学（俳諧史）
②主要学歴・学位	昭和 50 年 3 月金沢大学法文学部哲史文学科（国文学専攻）卒業 昭和 62 年 3 月早稲田大学大学院文学研究科修了（文学修士）
③研究業績 (主要著書・論文・その他)	<p>(著書)</p> <p>1. 蕪村句集（角川ソフィア文庫）平成 23 年 2 月 全 584 頁</p> <p>2. 一茶句集（角川ソフィア文庫）平成 25 年 8 月 全 618 頁</p> <p>3. 蕪村の四季（NHK 出版）平成 26 年 10 月 全 157 頁</p> <p>(共編著)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元禄名家句集一鬼貫篇（新典社）令和 2 年 5 月 全 494 頁 ・『真田幸弘点取百韻 翻刻と解題』勉誠出版 令和 3 年 2 月 全 290 頁 ・『寺田洋祐俳画集 蕪村一茶に遊ぶ』新典社 令和 3 年 2 月 全 110 頁 ・『鳳朗と一茶、その時代—近世後期俳諧と地域文化—』新典社 令和 3 年 3 月 全 375 頁 <p>(学術論文等)</p> <p>1. 蕪村「花ちりて」句文を読む 平成 24 年 3 月 （『連歌俳諧研究』第百二十二号）（pp:25～37）</p> <p>2. 鬼貫自筆「烏帽子付」資料 令和元年 9 月 （『連歌俳諧研究』第百三十七号）（pp:45～50）</p> <p>3. 『奥の細道』のネットワークの意味（松田浩・上原作和・佐谷眞木人・佐伯孝弘 編集『古典の常識を疑う II』勉誠出版 令和元年 9 月） （pp:184～187 段組）</p>
④社会的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・講演 「蕪村の遊び心と老が恋」令和 2 年 9 月 8 日 長野ロータリークラブ 於長野国際会館 ・講演 「こつじき俳人井月とこつじき首領一茶」令和 2 年 10 月 14 日（水）於伊那市創造館 ・俳文学会常任委員 ・『連歌俳諧研究』編集委員（令和 3 年 3 月まで） ・長野市地方文化財審議委員 ・松代藩文化施設管理委員 ・長野市教育振興基本計画及び生涯学習推進計画策定委員
⑤主な所属学会	俳文学会・早稲田大学国文学会・近世文芸研究と評論の会等
⑥その他	